

(2) 村のうつりかわり

湯川村ができるまで〈現在の湯川村〉

わたしたちの湯川村は、「米と文化の里」と言われるように、古くから勝常寺のような^{ぶつきょう}仏教文化が^{さか}栄え、人々のくらしも^{ゆた}豊かな^{だいち}大地の^{めぐ}恵みを受けて、^ち地域^い産業^いとして^{いな}稲作^{さく}を中心とした^{のうぎょう}農業が発達してきました。村では、健康で文化的な村づくりをめざして、いろいろなことに努力してきました。

農業の^{はってん}発展のために、大きな田や畑を作る土地の^{せいび}整備をしたり大型の農業機械を導入するようになりました。農業^{ぎじゆつ}技術センターやカントリーエレベーターを作って、農業の^{きんたい}近代化をはかりました。

さらに、^{ふくし}福祉にも力を入れ、^{ほけん}保健センターや^{こうれいしゃ}高齢者コミュニティセンター、^{ろうご}デイサービスセンターなども作られ、^{しんばい}老後も心配なくくらすことができるようになりました。



農業技術センター



カントリーエレベーター



保健センター



デイサービスセンター